

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤道夫

重点事業の概要 [事業名：新産業集積エリア整備事業]

[目標値：製造品出荷額等4, 200億円]

○新産業の集積を図るため新たな工業団地の開発を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	地元調整を図り、用地交渉に着手した。 工事着手に向けた関係機関との事前協議を開始した。
	自己評価	用地取得に向けた地元調整が図られた。
	下半期への対応	早期に地権者全員からの事業同意を取得し、年度内の用地取得、工事着手等に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

早期の用地取得に向け、職員一丸となって取組んで頂きたい。

下半期

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤道夫

事業の概要〔事業名：鳥栖市商業活性化推進協議会 賑わい創出支援事業〕

〔目標値：中心商店街の空き店舗率5%〕

○商店街の活性化と賑わいづくりを行うため、商業者自身が主体的に取り組む活動に係る経費に対する補助など、商店街の実情に応じた支援を行うことで、魅力ある商店街づくりを進めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	協議会幹事会及び勉強会等を開催し、まちの賑わい策や中心商店街の活性化策について協議した。
	自己評価	中心商店街の活性化に向け議論したが、策定までには至っていない。
	下半期への対応	中心商店街活性化策の策定に向け、多くの商業者等の参画機会を設けた先進地視察や勉強会等を通して、活性化の事例などについて調査研究し、幅広い意見・情報交換ができるよう努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

今後も継続して取組んで頂きたい。

下半期

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤道夫

重点事業の概要 [事業名：新鳥栖駅観光情報発信施設運営事業 イベント等でのPR、アウエーおもてなし] [目標値：集客数 1,200,000人]

○鳥栖市を訪れる人が心地よく滞在を楽しみ、リピーターとして再び訪れてもらえるよう、心のこもった、温かい観光客の受入体制づくりを行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	新鳥栖駅観光案内所での来訪者のおもてなしを行うとともに、まつり鳥栖や九州まん祭などのイベント及びサガン鳥栖ホームゲームでの観光・物産等の情報発信などを行った。
	自己評価	機会あるごとに観光や物産等の情報を発信し、着実なPRが図られた。
	下半期への対応	継続したおもてなしと情報発信等を継続していく。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

継続した取り組みをお願いしたい。

下半期

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

重点事業の概要 [事業名：試験研究機関や大学等の連携推進事業]

[目標値：利用件数 200件]

○高度で専門的知識や技術を有する九州シンクロトン光研究センター、産業技術総合研究所九州センターなどの研究機関や近隣の大学等と連携することにより、市内企業の育成・新産業の創出を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	これまで好評であったサイエンスカフェを、産業技術総合研究所九州センターと共催により市立図書館で開催した。 産総研と九州シンクロトン光研究センター主催の「一般公開」について、周知を図った。
	自己評価	サイエンスカフェは、回を重ねるごとに好評で、定員30名に対し48名の参加者があった。
	下半期への対応	科学や先端技術への興味関心を高めるサイエンスカフェを2回開催する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

関係機関と連携して取組んで頂きたい。

下半期

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤道夫

重点事業の概要 [事業名：シティーミュージアム構想事業 観光イノベーション、コンベンション] [目標値：集客数 1,200,000 人]

○市内に点在する観光地や名所、旧跡などを結び、モデルコースを作成し、パンフレットやホームページなどで紹介することによって、多くの観光客の回遊に繋がります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	市内誘客のため、自然や歴史、博物館、温泉、工場見学などをホームページやパンフレットなどで紹介し、市内及び近郊のイベント等を通して情報発信に努めた。また、新鳥栖駅を発着点としたノルディックウォーキングコースを策定し、スポーツ面を切り口とした誘客の取り組みを開始した。
	自己評価	PR活動や情報発信などにより、誘客が図られた。 ノルディックコース策定により、新たな集客ツールが出来た。
	下半期への対応	引き続き、情報発信等を行うとともに、観光ツールの新規開拓や来訪者のおもてなしの充実を図る。各種団体への営業活動による誘客促進を図る。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

市内外に向けた情報発信に努めて頂きたい。

下半期